



**BOSCH**

# **Access Professional Edition**

Alarm management

**ja**

ソフトウェアマニュアル



## 目次

1	概要	4
1.1	モジュール式设计	4
1.2	サーバーおよびクライアントモジュール	4
2	全般	5
2.1	ユーザーログイン	5
3	アラーム管理	7
3.1	マップビューアーとアラーム管理	8
3.1.1	マップの構成	8
3.1.2	マップへの機器の追加	10
4	UL 294 要件	12

# 1 概要

## 1.1 モジュール式設計

Access Professional Edition System (以下、「**Access PE**」) は、中小企業向けに自己完結型のアクセスコントロールを提供し、以下の幾つかのモジュールで構成されます。

- LAC Service : LAC (ローカルアクセスコントローラ - 以下、「コントローラ」) と常にコミュニケーションを取るプロセス。AMC (Access Modular Controllers) がコントローラとして使用されます。
- Configurator
- Personnel Management
- Logviewer
- Alarm Management
- Video Verification

## 1.2 サーバーおよびクライアントモジュール

これらのモジュールは、サーバーおよびクライアントモジュールに分けられます。

LAC サービスは常にコントローラと接続を保つ必要があります。その理由として、まずカード所有者の動き、存在、不在に関するメッセージを常に受け取るから、また新しいカードの割り当てなどのデータの変更をコントローラに送信するから、しかし主にはメタレベルのチェックを行うからです (アクセスシーケンスチェック、アンチパスバックチェック、ランダムスクリーニング)。

Configurator はサーバーでも実行される必要がありますが、クライアントワークステーションにインストールして、そこから実行することもできます。

Personnel Management および Logviewer の各モジュールは Client コンポーネントに属し、Server でも実行でき、サーバーにネットワーク接続のある異なる PC でも実行可能です。

以下のコントローラを使用できます。

- AMC2 4W (4 つの Wiegand リーダーインターフェイス) - AMC2 4W-EXT で拡張可能
- AMC2 4R4 (4 つの RS485 リーダーインターフェイス)

## 2

## 全般

## 2.1

## ユーザーログイン

次のアプリケーションが利用可能です。詳細については、該当するユーザーマニュアルを参照してください。



**Personnel Management**



**Configurator**



**Logviewer**



**Map and Alarm Management**



**Video Verification**



**注記!**

クライアントからのログインは、サーバーで LAC サービスが実行されている場合のみ可能です。

**クライアントのログイン**

システムのアプリケーションは不正な使用から保護されています。最初の使用におけるデフォルトのパスワードは次のとおりです。

- ユーザー名 : **bosch**
- パスワード : **bosch**

ユーザー名とパスワードを入力すると、**[パスワードの変更]** ボタンが有効になります。誤った入力を 3 回すると、その後、しばらくしてからでないと次回のログオンが行えません。これは、**[アプリケーションの起動]** ボタンと **[パスワードの変更]** ボタンに適用されます。

上部のドロップダウンリストを使って、希望するインタラクションの**言語**を選択できます。デフォルトは、アプリケーションをインストールするのに使われた言語です。アプリケーションを再起動せずにユーザーを変更した場合、以前の言語が維持されます。そのため、ダイアログボックスが希望する言語で表示されない可能性があります。これを避けるには、Access PE に再度ログインします。

Access PE は次の言語で実行できます。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- ロシア語
- ポーランド語
- 中国語（中国）
- オランダ語
- スペイン語
- ポルトガル語（ブラジル）

**注記!**

機器名、ラベル、モデル、ユーザー権限スキーマなどのすべてのファシリティは、入力された言語で表示されます。同様に、オペレーティングシステムが制御するボタンやラベルは、オペレーティングシステムの言語で表示されます。

[パスワードの変更] ボタンをクリックしたら、次のダイアログでユーザー名とパスワードを入力します。

The image shows a 'Change password' dialog box with a blue title bar. It contains two text input fields: 'New password' and 'Confirmation'. Below the fields are two buttons: 'Ok' and 'Cancel'.

**注記!**

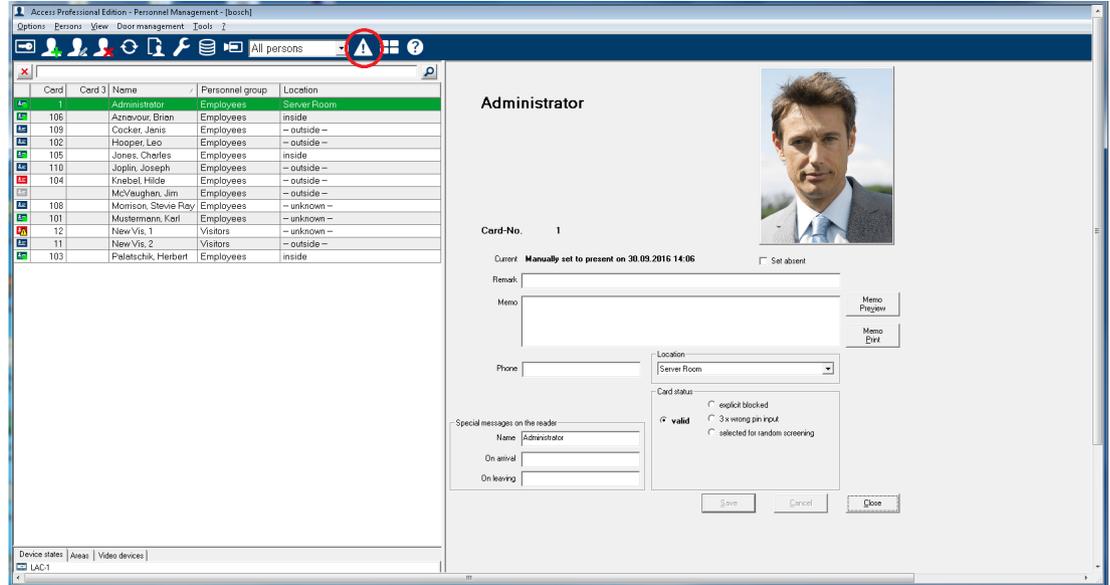
パスワードは必ず変更してください。

[アプリケーションの起動] ボタンはユーザーの権限を確認し、それに基づいてアプリケーションを起動します。システムがログインを認証できない場合、次のエラーメッセージが表示されます：「ユーザー名またはパスワードが間違っています!」

### 3 アラーム管理



このダイアログは [Personnel Management] ビューで  ボタンを押すことによって開始できます。



#### 注記!

アラーム処理タスクを確実に実行可能にするには、このダイアログを常に少なくとも 1 台のワークステーションで実行している必要があります。

ログブックとは対照的に、ここには [アラーム] カテゴリのメッセージだけが表示されます。

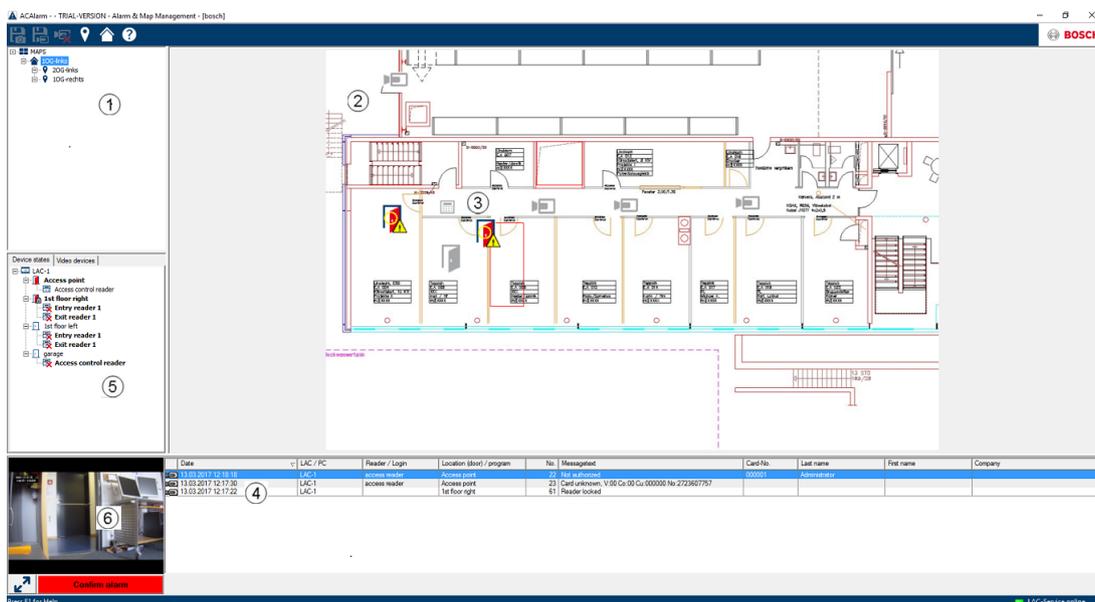
[アラーム] カテゴリのメッセージを受信すると、[アラーム管理] ダイアログが実行場所のワークステーションで最前面に表示されるため、メッセージを素早く処理できます。メッセージはダイアログが開始された各ワークステーションに表示され、それぞれのワークステーションで処理できます。監視カメラをアラームおよびログブックカメラとして構成した入口からアラームメッセージが出された場合は、関係するメッセージを選択したときにそのカメラのライブ画像が表示されます。

ツールバーのボタンを押すと、静止画像 () またはライブ画像のビデオ記録 () がローカルに保存されます。ローカルコピーの保存と名前設定の詳細については、「ローカル記録」を参照してください。

ワークステーションユーザーは、修理作業を委託したり、さらに検査したり、セキュリティサービスに通報したりすることにより、アラームメッセージに対応できます。

ツールバーの  ボタンを押すことにより、選択したメッセージに関するビデオ表示をオフにできます。ただし、別のメッセージを選択すると、ビデオ表示は自動的に再び有効化されます。処理済みまたは処置が不要なアラームメッセージは、[アラームの確認] ボタンを押すことによってリストから削除できます。確認したメッセージは、[アラーム管理] ダイアログが実行中であるすべてのワークステーションでリストから削除されます。

## 3.1 マップビューアーとアラーム管理



1. マップツリー
2. 有効な場所マップ
3. マップからのデバイスコントロール、コントロールはマップに表示されます
4. イベント情報を含むアラームリスト（ビデオを含む）
5. ステータスの概要と制御要素を含むデバイスツリー
6. ライブ画像

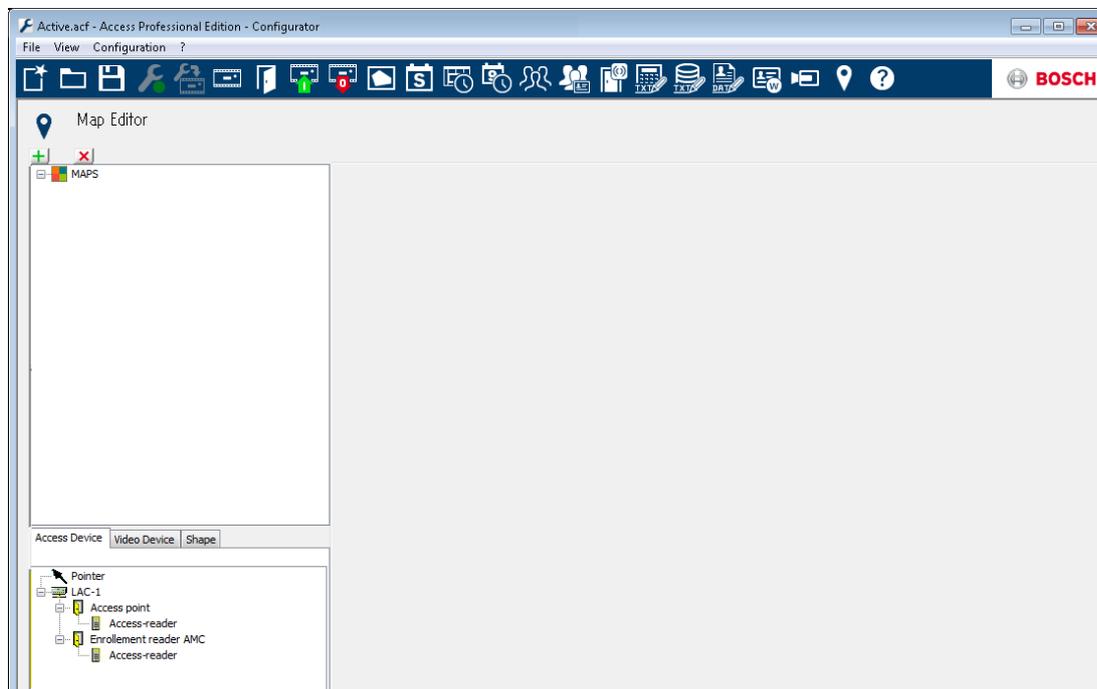
### Mapviewer の機能：

- 簡単なナビゲーションのためのホームマップ
- ハイパーリンクによるフォトビューとフロアプランとの間のナビゲーション
- 最大 3 レベルのデバイスツリー構造のナビゲーション
- 統合アラームリスト付きのアラーム用インタラクティブグラフィカルマップ
- マップおよびデバイスツリーからのライブビューとドアコントロール
- システムあたり 128 マップ
- マップあたり 64 機器
- マップあたり 64 ハイパーリンク
- マップあたり最大 2 MB
- マップビューアーは .bmp、.jpg、.png の標準画像フォーマットを使用します

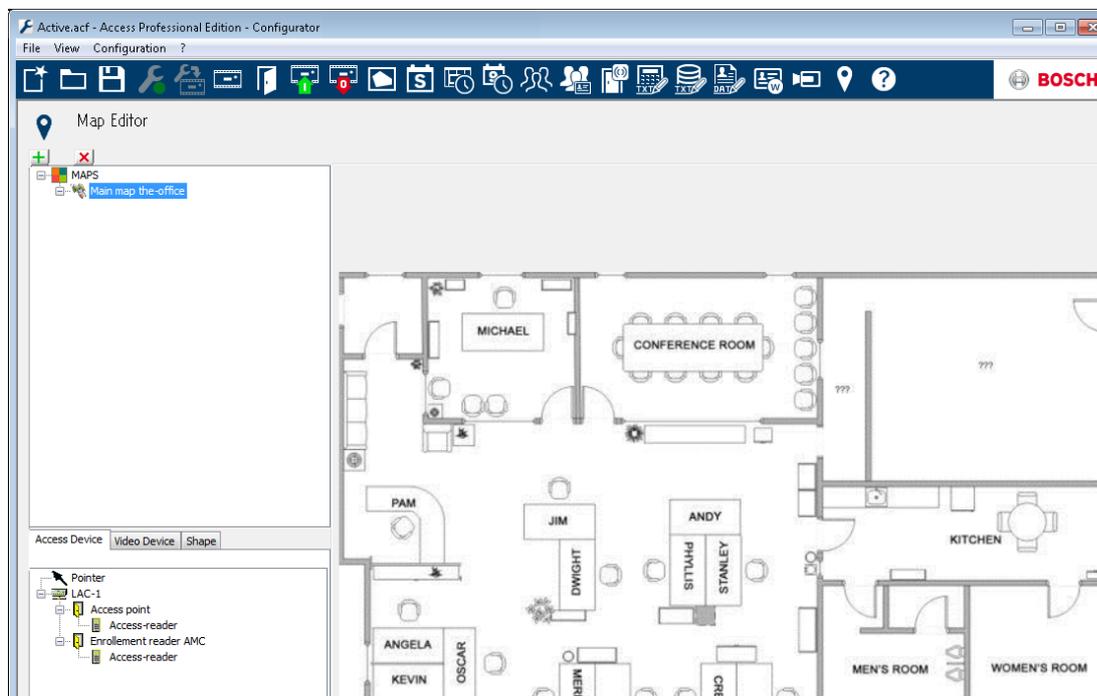
### 3.1.1

#### マップの構成

##### Map Editor の開始

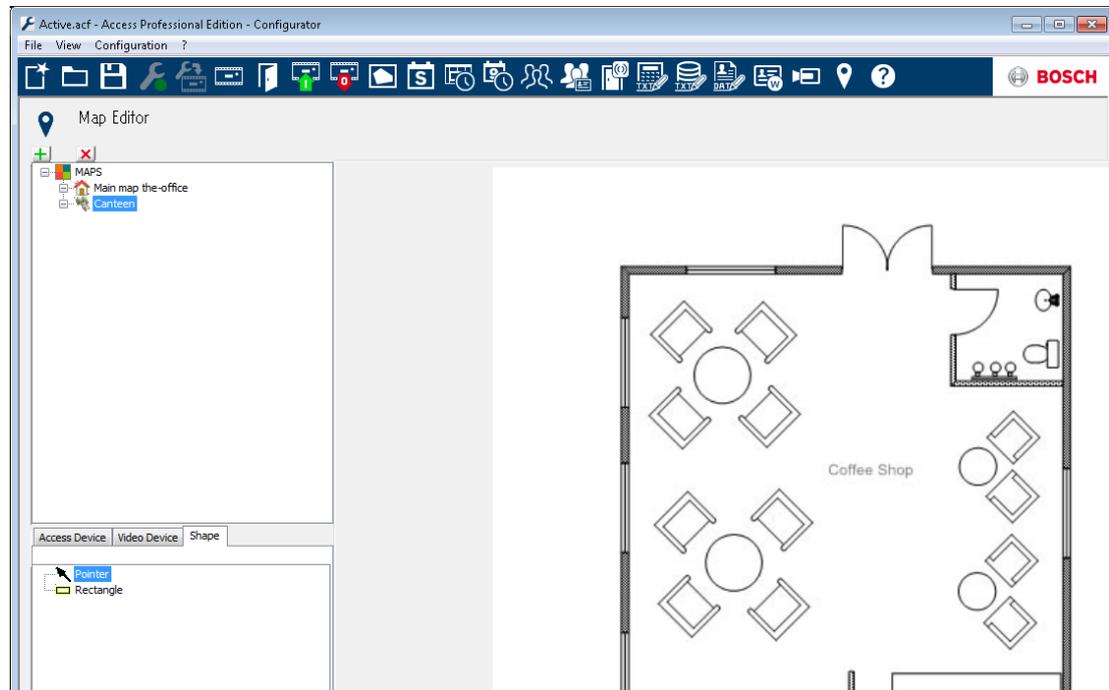


+ ボタンをクリックしてマップを追加します。

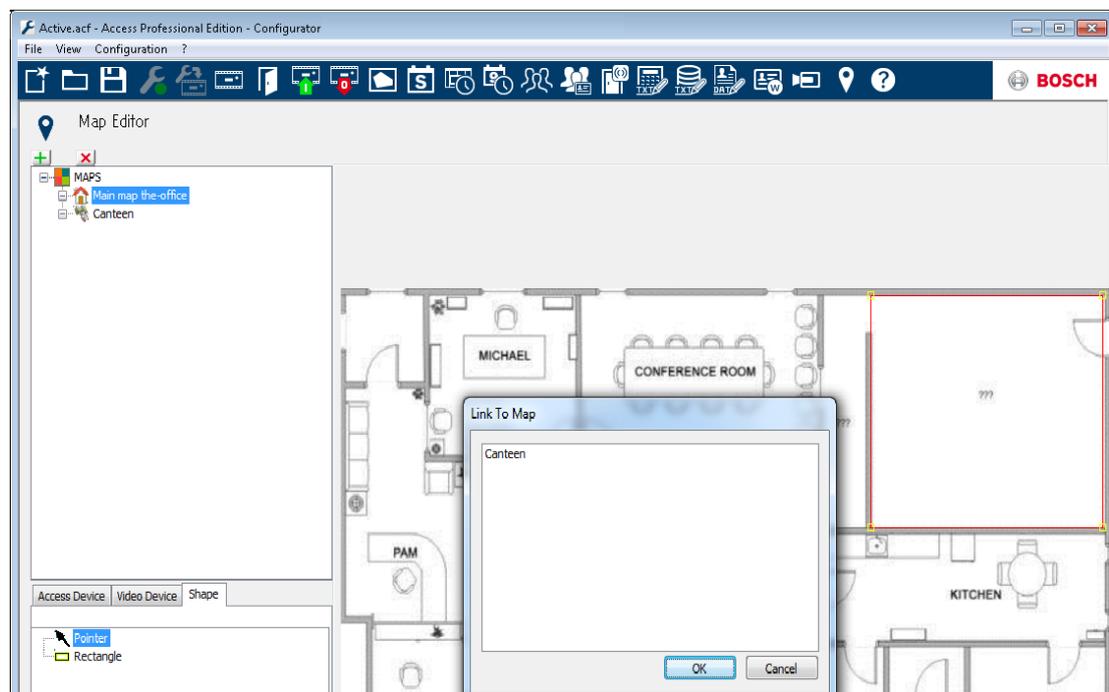


マップがダイアログに表示されます。

- オプションとして、このマップを**ホームマップ**として設定します。マップツリーに食堂などの詳細ビューを追加します。



- 新しい【食堂マップ】をメインマップに関連付けるには、【シェイプ】タブで【長方形】を選択します。
- 詳細ビューとして表示するメインマップの部分に長方形を置きます（下の例では赤い長方形として表示）。
- 【マップにリンク】ディスプレイで、それぞれの詳細ビューを選択します。この例では「食堂」です。



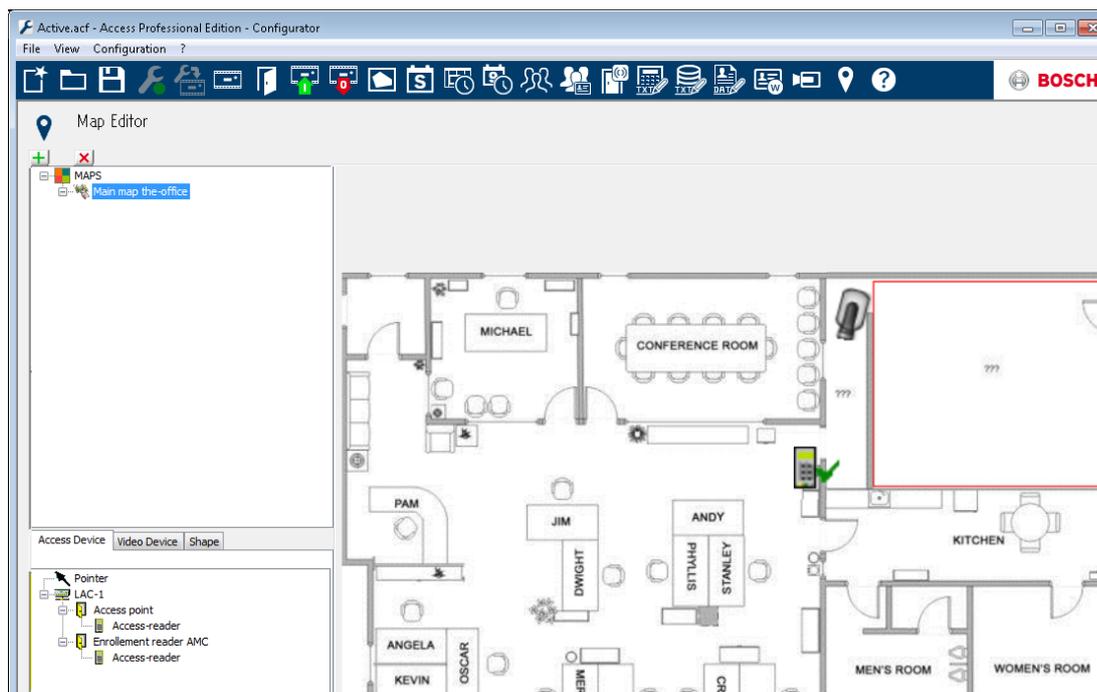
### 3.1.2

#### マップへの機器の追加

【機器】タブを選択して、機器をマウスでドラッグしてマップに追加します。下の例では、次の機器が追加されています。

- 1つのアクセスポイント

- 1つのリーダー
- 2つのカメラ



- マップの機器をクリックして、マウスボタンを押したままにすることでリサイズできます。
- デバイスをクリックして、マウスのスクロールホイールを使用して回転できます。

機器タイプ	コントロール要素
	ドア
	リーダー
	カメラ

機器タイプ	アラーム
アクセスポイント (入口)	
	ドアが承認なしで開けられました
	ドアの開放時間が長すぎました
	(すべてのリーダーアラームも入口アラームとして反映されます*)
リーダー	リーダーエラー
	
カメラ	なし

\*) これらのアラームイベントはユーザーによってカスタマイズできます。つまり、ユーザーは **[AcConfig] > [イベントログ]** メッセージを使って任意のイベントをアラームイベントにできます (2列目をダブルクリックするとアラームが発生します)。

## 4 UL 294 要件

### UL によって評価されない機能：

- ビデオ確認システム
- マップおよびビデオ確認を備えたマップビューアーとアラーム管理
- ビデオプレーヤー
- Log Viewer
- ユーザー権限
- Personnel Management
- 盗難警報機用

### UL によって評価される機能：

- APE-SW は補足監視機器

以下の Bosch モデルカードリーダーは、UL によって Bosch の APE-SW ソフトウェアシステムとの互換性が評価されました。

- LECTUS secure 1000 WI
- LECTUS secure 4000 WI
- LECTUS secure 5000 WI









**Bosch Security Systems B.V.**

Torenallee 49

5617 BA Eindhoven

Netherlands

**[www.boschsecurity.com](http://www.boschsecurity.com)**

© Bosch Security Systems B.V., 2019